

神社の作法と思い

私たち日本人の多くは、何か願いごとがあったり困りごとがあったりすると神頼みをします。しかし、神社に足を運ぶのは初詣だけという人が多いのではないのでしょうか。神社とは私たちにとってどのような場所で、どのような思いがあるのでしょうか。

まず、日本の伝統的宗教施設としては神社の他には仏教寺院があります。そもそも「神社」と「お寺」の違いとしては、お寺は人が仏教の教えに触れるところであり、お坊さんが修行する場所だそうです。これに対し神社は神様が鎮座する神聖な場所、神様の家であり、神職の方々はその神様に奉仕する、お世話をするのが仕事ということになります。そのため、私たちが神社に参拝するということは神様が住んでいる宮殿にお邪魔して、そこで神様にお願いをしたり、感謝をしたりすることを、直接神様に行う場所ということになります。したがって、身なりをきれいにしたり、清潔にしたり、礼儀ある心を持って参拝をすることは、参拝の作法以前の姿かと思えます。

「日本人の心」とは、様々な場面で聞かれますが、この神様に対しての思い、礼儀、感謝というものは、神様に対してでなく自分以外の人々の間に対しても意識されており、「日本人の心」の中でも最も尊く、大切にしていかななくてはならないものと感じます。

さて、その私たちの思いが「八百万の神」へと繋がっていき、神様はその性質によっていくつかの種類に分かれます。大きく3つに分けますと霊威神社、氏神神社、産土神社（うぶすながみ）となりますが、特に著しい霊験があるとされ、広く信仰されているのが霊威神社です。八幡宮や天満宮、稲荷神社、厳島神社、諏訪神社など各地に神社を持つ神社がこれにあたります。

八幡宮は武運、天満宮は学問成就、稲荷神社は商売繁盛など、それぞれ特有の御神徳で信仰を集め発展してきました。各地で特定の時期に「お祭り」が行われるのも豊作、大漁、商売繁盛などへの祈願やお礼の人々の現れです。そして参拝作法については皆様ご存知の「二礼二拍手一礼」ですが、その心から生み出されてきたものと考え、ちゃんとしなくてはなりませんね。



鎌野

宇宙とは

ジェームズウェッブ宇宙望遠鏡（James Webb Space Telescope 以下略して JWST）というのをご存じでしょうか？2022 年から活動を開始したこの望遠鏡は、地球から見て太陽とは反対側 150 万 km の位置の空間に漂わせるように飛行しています。その距離は月の公転軌道より約 4 倍外側になります。それ以前は、1990 年に打ち上げられたハッブル宇宙望遠鏡が約 35 年間、宇宙観測の中心でしたが、JWST の性能はハッブル宇宙望遠鏡のそれを遥かに凌ぎ、今までの宇宙論では説明のつかない星々や、銀河、現象を次々と発見しており、現在宇既存の宇宙論は崩壊し、混沌としていると言ってさえよいと思います。

それに加えて量子力学や物理学の研究が進み、色んな説が飛び交っております。宇宙誕生と言われているビッグバンですが本当は存在しなかったとか、ダークマターは存在しないとか、我々はブラックホールの中にいるとか、時間は存在しないし過去とか未来とかの向きもないとか。物体が同時に別の場所に存在しうるとか（量子もつれ）。我々が見ているこの世界はバーチャルであるとか、諸説百花繚乱です。

JWST の生涯費用は 180 億ドル（2 兆 7,000 億円）から 240 億ドル（3 兆 5,000 億円）と言われていますが、その価値は十分あると思います。我々の住む宇宙が、いつ始まってどうなっているのか？生きてる内に解明はできないと思いますが、無益な戦争に巨額をつぎ込むなら、こういった方面に、もっとお金をつぎ込んでほしいですね。ご興味のある方は、ネットでいくらでも最新情報が得られますので、ご覧ください。いつどうやって始まったか分からない宇宙ですから、いつなにか急に消滅してもおかしくありません。1 日 1 日を大事に生きましょう。

英樹



配り

第
312
便

勝亦製材駿河鉄骨樹

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 静岡県市中山518番地

楽あれば苦ありと歩む道程は流星の尾の如く優し
ねがみともみ



萌黄色にくぬぎ林の芽ぶき初む五月里山生彩放つ
勝亦 りつ子



お知らせ

私が副代表を務めております「御殿場ヒメボタルの会」で二岡神社のヒメボタルの写真展を開催します。「二岡神社 神秘の杜のほたる展」と題しまして、昨年二岡神社に来場された方が撮影したヒメボタルの写真の展示と我々の活動の案内をさせていただきます。

御殿場市民の皆さんは二岡神社にネガティブなイメージを持たれている方もいらっしゃると思いますがそれを払拭すべく、先代代表の「近隣にお住いの方やお子さんに二岡神社のヒメボタルを知ってもらいたい。」という想いを引き継いで開催される写真展です。ぜひご来場ください。

【開催場所】 富士山市民のサロン けやきかん 1階 市民ギャラリーにて
御殿場市新橋 2004-1

【開催日時】 令和 7 年 6 月 15 日(日)から 29 日(日)
9 時から 21 時まで
休館日 6月16日(月)、23日(月)

隣接する富士山御殿場 P をご利用の方は 2 時間まで無料になります。受付でサービス券をお渡しします。

また、今年の二岡神社のヒメボタルは 6 月 15 日(日)から 7 月 6 日(日)の期間で観察会場を開放します。金曜、土曜は観察専用の日でどなたでも御覧いただけます。

日曜日から木曜日は写真撮影が可能になります、観察は一部エリアのみになります。21 時 30 分からは場内完全消灯となり明りを点けることができません。

ホタルが飛び始めるのは深夜です。22 時以降にお越しいただければ神秘の輝きを観ることができますよ、こちらもぜひおいでください。

柳田敏和



トマト

現在、二十四節気の『小満』: 初夏のやさしい風が吹きはじめる「小満(しょうまん)」は、万物がすこしずつ満ちていく節気です。木々の緑が濃くなり、空には入道雲の気配が漂いはじめます。農作地では春に撒いた麦の穂が実り、田んぼの水面はきらきら輝き、やがて訪れる収穫のときを予感させます。「小満」という言葉には、作物の成長にひと安心できること、人々の心がほっと満たされること、といった静かな喜びが込められています。

萌黄色したお茶の葉が摘み頃を迎え、お天気にやきもきしながらお茶摘みが終わりました。

背中と肩と腰が痛い。回復するのに時間がかかるが、まっ動くし。という日々です。

昨年 9 月ごろ事務所に手のかからないサボテンを窓辺に置いたところ、そこからなんやら芽がひとつ出てきた。これはなにかと、観察していたところ‘トマト’の芽。種が土の中にあったのだろう、窓辺は暖かいので育つかな、と育ててみた。育ちは遅いが徐々に伸びていく。添え木をして年を越し花が咲いて実がつき、赤くなって‘中玉トマト’となった。温室状態の事務所の窓辺、虫もこないし、風も吹かない。花が下を向いているので受粉するようだ。小さい鉢なので水がすぐなくなる、肥料も少々だが、ヒョロヒョロしながら天井まで届き、成長を止める為切り落とす。脇芽があるので、他の鉢にさしてみれば根が付き成長していくではないか。凄い生命力だ。現在クローンが 5 鉢。そのまま窓辺と屋外に置いて、どうなるか実験中。植える時期に植えたトマトの成長より、やはり温室育ちでストレスも少ない・・・。人間と同じでヒョロヒョロしているが。確かにトマト。手に取れば傷もなく蠟細工の様につやつや、食べてみると皮が異様に硬いが味は甘く酸味少なめの中玉トマト。このまま一年クローンで繋げそうだ・・・。ひとつの芽から元気をもらって、まさに季節は『小満』このトマト夏どうなるだろうか。

味が濃く高価なアメーラトマトはここで育つだろうか? ふふふ

ねがみ

イチゴ

いろいろな物が値上がりしている昨今ですが、果物も高いですね。お米や野菜、肉、魚に比べ無理に買う必要はないけれど旬の果物はたまには食べたくなるものです。今回はイチゴについて。以前なら 1~3 月にもなれば手頃な値段で楽しめていたがなかなか下がらない。特にブランドイチゴは高い。高くなった理由は主に 3 つ。①2024 年夏~秋の長雨や台風、冬の急激な温度変化の影響による収穫量の減少~イチゴは気温や自然の変化に敏感で、特に花の咲く時期の天候不良は収穫量を左右するそうで、例年の 7 割くらいの生産量だったらしい。②エネルギー価格の高騰による暖房費などの生産コスト増と輸送コスト増、③深刻な人手不足による人件費の増加。

先日、御殿場高原時之栖のイチゴ刈りに行ってきました。閉園 2 日前で入場料は最低価格だったのですが、昨年より 300 円高くなっていました。せっかくだから思い切り食べるぞーと思ったが、20 個も食べれば手も進まなくなる。若い頃はもっといけたのに…。来シーズンは買いやすくなると良いな。



祥子